

栃木県養護教育研究会・会報

か が や き

第43号

平成27年6月23日

発行者 栃木県養護教育研究会
 会長 大豆生田 聡
 編集者 栃木県養護教育研究会事務局

「出会いは宝」

栃木県養護教育研究会副会長 齋藤 真由美

平成19年の8月に栃木県で全国養護教諭研究大会が開催された年に本部役員になり早8年、その間、「養護教諭執務の手引きー2012年版」の発行や、ホームページの開設、レベルアップ研修会の立ち上げなど、歴代会長や役員の先生方と様々な仕事をさせていただきました。会員の皆様には、調査研究への協力や研修会運営への協力などでいつも無理難題を押しつけてしまいましたが、そんなわがままな要求に真摯に答えてくださった皆様に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

小泉信三という昭和初期の経済学者が『人生において、万卷の書を読むより、優れた人物に一人でも多く会う方がどれだけ勉強になるかー百冊の本を読むより、百人の人物に会え』という言葉を残していますが、この8年間でいろいろな方にお会いする機会をいただきました。研修会の講師、全国の養護部会の代表、歴代の会長、本部役員、地区役員、会場当番や研究発表をしていただいた会員の皆様、連携団体の担当者…、数え上げたら切りがないほど多くの方々との出会いが、私にとって宝になりました。

平成20年の学校保健安全法の改正により、養護教諭が担う役割は多岐にわたり、今後も無限大に拡大していくと思われまふ。私たち女性は元来、男性よりも生真面目な生き物で、中でも養護教諭はバカが付くほどマジメな人が多いと常日頃から感じています。子どもたちの健康も大切ですが、ご自分の体にも注意を払い、保健室から「元気」を発信していきましょう。

最後になりましたが、本研究会のますますの発展をお祈りし、退任のあいさつとさせていただきます。
 ~~~~~

## 「いのちの重み」を伝えつなぐエキスパート 養護教諭

栃木県養護教育研究会副会長 柿木 総子

四年前、尊敬する大先輩から「研究会と一緒に学ばない?!『返事ははいのみよ!』!」とお誘いをいただきました。これが研究会との出発点です。以来、会員の皆様から温かいご支援いただき、不慣れながらも右往左往しながら活動させていただきました。その中で、会の歴史と諸先輩方のすばらしい足跡に触れ、改めて執務に対する謙虚さや情熱、強い探究心に感動しました。そして、今日、現代の健康課題に対して、地域の仲間とともに多様な切り口で児童生徒や保護者、教職員に働きかける技を磨き続けていらっしゃる先生方から、本会の底力を実感しています。

養護教諭の執務の基盤は、「いのちの重み」を認識し、「いのちの肯定」ができる児童生徒を育むことと考えています。社会がどのように変化しても「いのちの重み」は普遍です。目の前の子ども達と「いのちの使いかた」を学ぶ時間を共有する私たちは、この積み重ねから、100年後、200年後の未来を形成していることの深みを日々感じています。養護教諭はそれらを原動力に、児童生徒の生命力と意欲を引き出せるエキスパートと言えるのではないのでしょうか。

最後に、今後、本会が益々発展されますよう心からご祈念申し上げますとともに、皆様とさらに学びを充実させたいと思います。



## 全国養護教諭連絡協議会「第20回研究協議会」に参加して



那須塩原市立南小学校 森 和枝

2月20日東京メルパルクホールでの研修会に参加させていただき、誠にありがとうございます。栃木県からは10名の参加でした。午前の特別講演の講師の林寛之氏は、自治医大の御卒業で、現在は石川県の金沢市から福井県の病院に1時間以上かけて通勤されているそうです。救急対応は待たなし。救急車を要請しすぐ手当てしないとイケない病態でも手順をシュミレーションしておく。学校で使える機器は少ないが、使いこなせるようになっておきたい。突然の心肺停止では、すぐに胸骨圧迫開始。1分間に125回(ポニョやアンパンマンの曲)がよい。死戦期呼吸は、口がパクパク動いて痙攣していることあるのですぐ胸骨圧迫開始する。心マッサージは質が大事で、しっかり押して(5cm)(肋骨骨折あり)十分解除し、2分交替で複数で対応するのがベストとのこと。胃腸炎や溺水・窒息・アナフィラキシー・喘息発作・創傷処置・脳震盪等についても3択クイズ形式や効果音で楽しく学べ、質疑応答多数、あっという間に時間となり、休憩時間を利用しての著書販売はすぐに完売の人気でした。

全国養護教諭連絡協議会活動報告では、20年の歩みを確認することができました。法改正や時代の変化にあらためて歴史を感じ、養護教諭の在り方、役割をテーマに研究協議してきました。午後の講演では、①児童生徒の心身の健康課題解決に向けて、求められる養護教諭の役割 ②養護教諭の職務と保健室経営 ③課題解決のための保健室経営計画の3つの内容でした。後半は最新版の「保健室経営計画作成の手引き」資料から、保健室経営計画の作成を演習しました。自校の健康課題を5つあげ、解決するためにできることを具体的に書きました。保健管理・保健教育・健康相談・保健室経営・保健組織活動の枠組みに沿って整理するとわかりやすくなることを学びました。保健室経営目標は「〇〇をして～の充実を図る」と表記するとよいとのこと。児童生徒・自身のため、さらに精進していきたいです。



〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

### 地区だより(塩谷地区)

矢板市立乙畑小学校 田代 敦子

塩谷地区では、2回の研修会を行っています。今年度の春の研修会では、2つの講話を聞きました。1つ目は、塩谷南那須教育事務所の青木均先生から「学校保健安全法の一部改正の概要」「ASUKAモデルから学ぶこと」「食物アレルギー校内体制事業」についての説明がありました。2つ目は、笑み筋インストラクターの塚原扶美枝先生による「笑み筋体操」の講話でした。笑いは、NK細胞を活性化させ、心身の健康に欠かせぬものだと感じた内容でした。また、塩谷地区4市町と高校部会からのそれぞれの活動報告の時間を設け、作成した指導資料等の紹介があり、執務をする上での参考になりました。これらの活動の内容は、ホームページにも、定期的にアップしています。

2回目の秋の研修会では、小山市出身で、世界の水泳界で活躍しているトップスイマーの萩野公介選手がロンドンオリンピックに出場するまでの2年間、専属の栄養士として萩野選手を支えた管理栄養士の鈴木いづみ先生の講演でした。「スポーツをする子どもの栄養と食事」というテーマで、「①スポーツをする子どもになぜ栄養が大切か」「②トップアスリートの栄養マネジメント」「③スポーツをする子どもの食事と基本」「④小中学校期までに身につけたい5つの食事術」について話を聞きました。小中学生までに、自分で栄養を考え、自己管理できるよう教えていくことが大切だと感じました。これらの研修は 会員に好評で、時間を延長しても聞きたいと思った人も多かったようです。これからは会員のニーズに答える研修を企画し、親睦や資質の向上に努め、実り多い研修にしたいと思います。



## 常任委員を終えて

上三川町立明治南小学校 手塚 重子

久しぶりに2回目の常任委員ということで、平成25年・26年の2年間務めさせていただきました。前回の役員の先生方はもちろん、各地区の常任委員の先生方も変わり、新たな気持ちで臨みました。

上三川町は、県内で最も少人数の地区で研修を進めていますので、この委員会での他地区の活動の様子や役員の先生方との情報交換は、仲間の輪が広がったことと職域の広さにも気づかせていただき、とても有意義な時間でした。また、役員の先生方が陰になって働いてくださっている力は大きく、春・秋の研修をはじめレベルアップ研修など、会員が意欲的に参加し満足のできる研修会の企画・運営など細やかな配慮と熱意が伝わり感謝しています。そして、小・中・高の養護教諭が連携を図れるのもこうした研修のお蔭だと思います。今後は一会員として、この会がますます発展しますように協力させていただきます。2年間お世話になりました。



## しろたえ編集委員を終えて

小山市立桑中学校 竹島 珠美

私にとって、「しろたえ」の編集は、今まで経験したことがない作業の連続で、特に校正ははかどらないことが多く、テキパキと校正を入れていく本部役員の先生や他の編集委員の先生方に助けていただきながらの2年間でした。編集委員会で校正された原稿を学校に持ち帰り、さらにファックスやメールで確認後に再校正等の行程を経て、やっと「しろたえ」ができあがった時の喜びは大きく、手に取ると編集に携わる前よりもずっしりと重く、愛おしく感じました。また、年に3回の研修会及び編集委員会は、全国や県の動向を知る等学びの場であるとともに、先生方に日頃の悩みを話すことで執務上の悩みが解決するという一石二鳥の場でありました。下都賀地区の方では、ホームページの担当となり、地区内の様子等を栃木県養護教育研究会のホームページにアップする作業にも携わる事が出来ました。そのような学びの機会を与えてくださったことや編集委員の素敵な先生方に出会えたこと、そして快く原稿をお寄せくださった先生方に感謝いたします。ありがとうございました。



## 調査研究委員を終えて

さくら市立氏家中学校 阿久津 季子

平成25・26年度の調査研究テーマは「生きる力をはぐくむ保健指導～個別の保健指導を考える・充実に向けて」でした。調査・研究にあたり、会員の皆さまには、アンケートへの協力や指導資料の提供をいただきまして大変ありがとうございました。会員の皆さまの努力や熱意を感じ、児童生徒ひとりひとりに、もっと真摯に向き合おうという気持ちがこみ上げてきました。

また、委員会に参加するたびに、事務局の先生方の細やかな配慮やご苦勞を感じました。さらに、地区や校種、学校規模等が異なる先生方と様々な意見や情報交換をし合い、調査研究を行うことで、物事のとらえ方や考え方を広げることができました。

このような機会をいただきまして感謝申し上げます。2年間、本当にありがとうございました。

委員の皆様、大変お世話になりました。

～～～本部役員を退任される先生方から～～～



真岡市立真岡小学校 大岡 洋子

振り返ってみれば、8年前の全国養護教諭研究大会のお手伝いから私の役員生活がスタートしました。一つの大会を多くの人々の力で作り上げる苦労や喜びを目の当たりにして、栃木県の養護教諭の『底力』を実感したのを今でも思い出します。以後、微力ではありますが、栃木県養護教育研究会のしろたえ編集と会計の職を務めて参りました。

『しろたえ』は、栃木県養護教育研究会が作成する研究誌です。是非、目を通していただいて、仲間の声や研究成果を感じ取っていただきたいと思います。8年間お世話になりました。本会の益々の発展をお祈り申し上げますとともに、これまでのご協力に感謝し、挨拶とします。

\*\*\*\*\*

那須烏山市立荒川小学校 堀江 くみ子

4年間大変お世話になりました。養護教諭として長い教員生活の残り少ないこの時期に貴重な経験をさせていただき、感謝申し上げます。私は主に研究誌「しろたえ」の編集を担当しました。会員の皆様からの原稿をいただきまとめていく中で、皆様の「思い」や「研究心」などに心打たれ、自分の日々の執務を反省し、がんばっていこうという「力」をいただきました。ありがとうございました。最後に、本研究会が今後益々発展・進化していくことをお祈りいたします。

\*\*\*\*\*

県立足利南高等学校 大河原 禎子

平成 23 年度から 2 期役員を務めましたが、足を引っ張ることばかりでした。特にパソコンが苦手な私にとって、最初がホームページの立ち上げの担当は本当に何もできず申し訳ない思いでした。また、夏季休業中のレベルアップ研修会では受講決定の連絡に不備があったり、司会なのに声を囁らせていたりご迷惑をお掛けしました。

4 年間本部の立場でこの研究会に関わり自分自身が一番学ばせていただきました。今後はこの研究会で学んだことを現場で生かしたいと思います。ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

宇都宮市立岡本北小学校 阿由葉 克子

平成 21 年度から 6 年間、主に調査研究とホームページを担当させていただきました。経験も力も不足しており、役員の方をはじめ、地区役員の方々にたくさんお力を貸していただき、役を務めることができました。たくさんの先生方と出会えたことは、何物にも代えがたい宝物です。役員の方の経験を通して学んだことを、今後の執務に生かしていきたいです。

お世話になり、ありがとうございました。



第 4 回 レベルアップ研修会のお知らせ

4 回目となる今年も、聴いたらすぐに明日からの保健室で生かせる内容となっています。多くの先生方の参加をお待ちしています。

- 期日 8月20日(木) ●会場 栃木県立博物館 講堂 ●参加費 500円
- 講演内容 ①学校の感染症対策 白鷗大学教育学部教授 岡田 晴恵 先生
- ②「すぐに役立つ医学情報」小児の頭痛 筑波学園病院小児科 藤田 光江 先生